

製品名: ND5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14464**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	MT-ND5
別名	MT-ND5; MTND5; NADH5; ND5; NADH-ubiquinone oxidoreductase chain 5; NADH dehydrogenase subunit 5
遺伝子 ID	4540.0
SwissProt ID	P03915
免疫原	抗血清はヒト MT-ND5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 328-377

背景

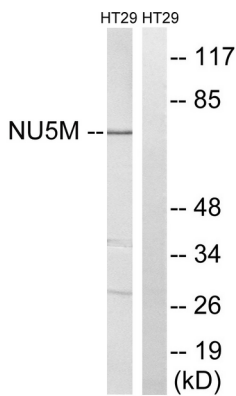
触媒活性: NADH + ユビキノン = NAD(+) + ユビキノール。疾患: MT-ND5 の欠陥は、複合体 I ミトコンドリア呼吸鎖欠損症

[MIM:252010]の原因となる。複合体I (NADH-ユビキノン酸化還元酵素) は、ミトコンドリア呼吸鎖の最大の複合体であり、40以上のサブユニットを含む。ミトコンドリア内膜に埋め込まれ、一部はマトリックスに突出している。複合体I欠損症は、ミトコンドリア疾患の最も一般的な原因である。これは呼吸鎖欠損症全体の3分の1を占め、神経障害から心筋症、肝不全、ミオパシーに至るまで、さまざまな臨床症状の原因となります。疾患: MT-ND5の欠陥は、レーバー遺伝性視神経症 (LHON) [MIM: 535000]の原因です。

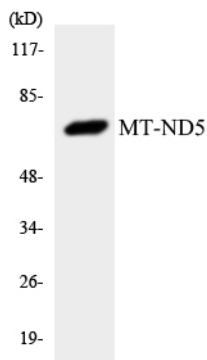
研究分野

酸化的リン酸化;パーキンソン病;

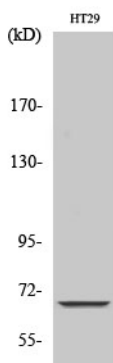
画像データ



MT-ND5抗体を用いたHT-29細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MT-ND5抗体を使用したJurkat細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000に希釈したND5ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析